

- リーダーの資質・技術の向上に関すること。
- 体育・レクリエーションに関すること。

② 専門研修………20時間

- A コース……婦人学級リーダー育成コース
- B コース……婦人団体リーダー育成コース
- C コース……ボランティアリーダー育成コース
- D コース……中堅リーダー育成コース

研修方法

ア、講義

- 国際理解と婦人の役割
- 諸外国における婦人のボランティア活動
- 地域に生きるあたらしい婦人団体の方向
- 団体における学習と活動のサイクル
- 婦人の学習とボランティア活動
- 地域づくりを目指す婦人教育指導者への期待
- 地域におけるボランティア活動展開の手順と着眼点
- 物の見方、考えかた

イ、研究協議

- リーダーの資質を高めよう
- 私の考える婦人教育
- 婦人学級におけるボランティア学習の内容
- 婦人団体におけるボランティア活動の実践
- 地域における実践活動展開の視点
- ボランティア活動実践上の諸問題
- 地域に生きる指導者像をえがく

ウ、実技研修

- キャンドルのつどい
- フォークダンスの指導方法
- 室内ゲームの方法と実際

エ、コース別研修

オ、全体協議

協議題「地域に生きる指導者像をえがく」

カ、レクリエーション 交歓会

キ、ホームワーク

(ア) 必須課題 (その1)

- 婦人ボランティア活動を進めるために、婦人学級(団体)における学習計画(実践活動)の中にこれをどう盛り込んだらよいか(どう盛り込み、ボランティア精神を高めたか。)
- 婦人ボランティア活動に関する学習要求調査を進める——地域婦人との面接による——

(イ) 自由課題 (その2) 地域グループ研修テーマ

- いきいきした地域の婦人教育活動を盛り上げるために、地域別にグループをつくり、研究テーマをたて、具体的な調査・研究・実践を進める。

ク、地域別研修(管内ブロックごと)

10 婦人教育調査

(1) 趣 旨

ボランティア活動の促進を図るため、既に実施した昭和47年度「婦人ボランティア活動に関する生活意識調査」並びに昭和48年度「婦人ボランティア活動に関する学習要求調査」

に現れた集計に基づいて計画した「学習活動の実践事例」を中心として、指導資料を作成し、婦人教育の振興を図る。

(2) 調査の主題

「婦人ボランティア活動に関する実践状況の調査」

(3) 調査の対象

県内に在住する20歳～60歳の婦人 1,500名

(4) 調査期間 11月～1月

(5) 調査に当たった者

- 調査指導員……各教育事務所の婦人教育担当者がこれに当たり、管内における調査実施全般について指導、助言に当たる。
- 調査研究委員…県内婦人教育指導者の代表(10名)をもって構成し、調査結果について研究分析し資料の編集に当たる。
- 調査員………福島県婦人教育指導員(16名)
- 調査協力員……調査対象地区公民館職員並びに県内婦人有志指導者

(6) 調査の方法

- ① 地域類型対象を○農村 ○商店街 ○住宅街 ○都市近郊地域(新興住宅団地を含む)とする。
- ② 調査員並びに協力員等を中心とする面接調査による。
- ③ 調査の手順…調査協力員→調査員→調査研究委員→調査指導員を経て結果を考察する。

(7) 調査内容

「地域におけるボランティア活動に関する実践」状況の調査。

- ① 実践してみたボランティア活動について
- ② ボランティア活動に関する学習の実践状況について

(8) 調査結果

- ① 調査研究委員会をもうけ、調査結果を分析して、県内における婦人ボランティア活動促進のための資料とする。
- ② 調査結果を集録して関係者に配布し、婦人教育振興のための資料として活用する。

(9) 備 考

調査結果については婦人教育資料「婦人ボランティア活動の実践—学習篇—」を参照のこと。

11 婦人学級の状況

年度	県委託	補助級	市町村費開設	婦人団体	その他	合計
49	3	109	442	84	10	648

12 県研究婦人学級

(1) 目 的

婦人教育の学習機会の拡大と、学習内容の充実を期するため、とくに今年度は、婦人教育活動の各分野にわたり、自発的な促進援助をするための中心的な役割をはたす婦人ボランティアの養成のためボランティア活動に関する学習内容の研究を委託し、波及効果を期す。

(2) 研究主題

婦人ボランティア活動に関する学習内容の研究

(3) 委託の対象 市町村教育委員会